

良 友

良二君と良き友に

県議会議員 田中良二 県政報告

第 43 号

〒895-0071

薩摩川内市田海町 8313

TEL・FAX 0996-30-2490

夢に向かって改革発展

12月県議会だより

核燃料税条例の見直し



『行動と政策提言』

<9月議会で見直しを提言>



田中県議が、3月議会に続き、9月議会の一般質問でも取り上げましたが、12月議会に改正条例が提案、可決されました。
(H25. 6月から施行)

<改正の内容>

1. 財源充当の範囲を拡大

現在の原発から10km圏内から、30km圏内の事業に拡大されました。

2. 税率を5%アップ

現在の税率は核燃料の価額に12%課税ですが、原発が稼働していないと課税できません。そのため、H23、24年度とも約12億円の県歳入が入らない状況です。新条例では、現在の税率12%を17%に、「アップした5%分は稼働していなくても課税する」出力割分が規定され、H25年度から年約5億円の県歳入となります。

《田中県議の主張》

電源地域の安全性確保、将来発展の観点から次の3点を強く主張し、総務委員長から委員会における主な議論として、本会議報告されました。

①原発に近い地域の安全対策を

原発防災対策を重点的に実施するエリアは拡大の方向であります。特に原発に近い5km圏内、10km圏内の安全対策、基盤整備には核燃料税の重点配分を訴えました。

②薩摩川内市への税収配分を

「核燃料税の立地市町村への配分」について、核燃料税を導入している全国13道県のうち「鹿児島県と石川県の2県だけ」が、立地市町村への配分をしていないことから、薩摩川内市への税収配分を訴えました。

③核燃料税の用途の公開を

引き続き 議会活動、政策提言、要望実現に 全力投球でがんばります。

寄り洲除去計画が策定される

防災、景観の面からも身近な要望の多い河川の「寄り洲除去」について、H23. 11 月に 4 か年計画が策定されました。H24～27 に約 40 億円の県単事業として、搬出土砂の無償受け入れ募集によるコスト縮減を図りながら、計画的に除去が実施されます。



<城後川：市比野川支流
市比野中心街～H24. 12 月>



<百次川：水面が見えない～右下が下流
百次町和田自治会～H24. 7 月>

話題

巳年の門松

恒例のユニークな門松が、隈之城バイパスに登場し、注目を集めています。



<隈之城地区 都町>

県議会一口メモ

県議会政治倫理要綱

県議 51 名は、「年賀状、暑中見舞い、冠婚葬祭の電報を出せない」「歳暮、中元を贈れない」こと等が、定められています。

～笑い・ユーモア～

選挙戦の手ごたえ!?

- 6 年前、1 期目の選挙のとき、投票日まであと 3 日と迫った日の朝、「先輩、選挙戦の手ごたえとは、何でしょうか?」と尋ねる田中県議。すると「そんたね、選挙カーに市民が手を振ってくれたら OK じゃが。」
- 選挙カーで行くと、家の中から白いタオルを懸命に振ってくれる若者が目にとまった。「これが、手ごたえか。」うなづく田中県議。しかし、いつまでも振り続けている。
- よくよく見ると、何と、それは新築中の家で、大きな窓ガラスを中から懸命に拭いている若者の光景であった。
(H19. 4 月号 再掲)

